

子どもの自己管理能力を育てる、歯・口の健康づくり

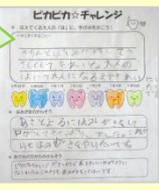
福岡県桂川町立桂川東小学校

本校は、全校児童 108 名、7 学級の学校です。本校では、子どもたちの基本的な生活習慣の確立を目指し、歯・口の健康づくりを通して様々な取組を行っています。本年度行った実践について紹介します。

むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践【学級活動】

歯や口の病気を予防する方法について、6 月に保健指導を行いました。子どもが自分の口の中の様子に合った歯みがきができるように授業内容を工夫しました。

2 年生「むしばとはみがき」



歯が生えかわることや大人の歯を大切にする方法を考えながら、歯みがきの仕方を学習しました。

5 年生「歯を大切にしよう」

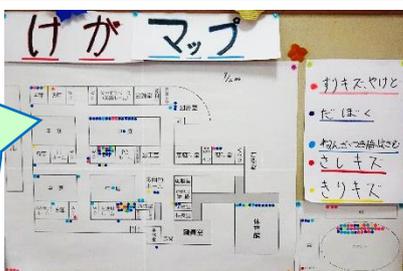
【全国小学生歯みがき大会】への参加



歯肉炎に関心の高い学年であり、自分の歯ぐきの観察や歯みがきの仕方など、積極的に学習する姿が見られました。

歯・口のけがの防止と安全な環境づくり【児童保健委員会の活動】

児童保健委員会の取組として、「けがマップ」を作成しています。9 月には、全校児童がけがを防止する方法について考えることができるように、校内での安全な過ごし方について掲示物を作成しました。



食べる機能や食べ方の発達支援を通じた実践的な歯・口の健康づくり

【保健指導】

2 学期の体位測定時に、全学年で「よくかんで食べることと姿勢」について保健指導をしました。



「ピンピタグー」を合い言葉に、正しい姿勢を心がけています。また、給食時には、かむときに動くところを触り、しっかりかめているか確認しました。

【PTAとの連携】

PTA 保健体育部と連携し、保護者が参加する給食試食会で学校歯科医と栄養教諭による講話を実施しました。8020 運動について話があり、保護者と一緒に歯・口の健康について考えることができました。

また、講話の内容をもとにほけんだよりを作成し、家庭へ啓発しました。

